

学校法人内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第268号
(3月)
2024

幼稚園での育ちの確認

学校法人内丸学園 盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

まもなく弥生を迎える時節、お預かりしていた年長児は、4月から小学校入学です。いよいよ本格的な学びの教育が始まります。当園での年長組の一段とたくましさを備えた子ども達は、保護者の方々企画の卒園を祝う会でも立派に表現活動を披露し、その期待にワクワク感を募らせ活発な日々を送っておりますが、改めて幼稚園での育ちの確認をする時期となりました。

私も幼稚園での3歳児〜5歳児の幼児期教育・保育指針は、具体内容として身近な方々に対する信頼感、愛着心の養成及び情緒の安定、日々の生活習慣の形成。十分に自己自身を発揮し、お世話い

ただく大人や先生方、お友達との関わりを通じた受容体験及び自己肯定感の育成獲得。そして道徳性や社会性の芽生えとなる遊びを通じた子ども同士の体験活動の充実を目標としております。

このことでお気付きだと思いますが、幼児期において知識・技能の育ちである認知能力の育成もさることながら、情緒的安定や人間関係調整、コミュニケーション能力、最後までやり抜く力、自立心、自己肯定感の形成等の非認知能力と言われる育成が極めて重視されるように構成されております(幼児期における非認知能力の育ちの重要性は、ノーベル経済学賞を受賞したジェームス・ヘックマンの

脳科学の知見と結び付けた経済学の視点が原点です)。

これらの指針目標を学年発達年齢の特徴をとらえて、年次計画のもと実施しております。その上に、当園では一人ひとりの違いを個性として受け止め、その育ちを安定したものとして支えることを大事にして、遊びが学びとなる周りの環境を整え、好奇心を広げ、不思議や感動を追及する出会いを大切にしております。

さてその育ちや目標の達成確認は、それぞれの学年担当グループでの協議評価によりますがその結果は成長の記録、要録として記載され、次年度の成長目標として生かされる仕組みです。年長児の場合は、教育指導要録としてそれぞれの進学する小学校へ公簿として送達されます。

特に近年は、国の方針として人格形成期の幼児教育重視の観点から、「保幼小(保育園・幼稚園、こども園と小学校)の接続強化」として、架け橋プログラム内容が掲げられ義務化された指導プログラムのもとに教育・保育指針が組み込まれるようになっております。保護者の皆様方にも、この時期

における我が子の非認知能力の育ち ①目標に向かって頑張る力、②他の人とうまく関わる力、③感情のコントロール、情緒の安定等々の育ちを確認していただき、さらなる育ちのために、あきらめず粘り強く続ける、経験や失敗を生かす声掛け、相手の存在を認め受け入れる協調性、自制心を高め自己肯定感が育つような、家族での関わりを意識し強めていただければ幸いです。



「Aクラス卒園を祝う会」



卒業おめでとう

卒業おめでとう！

Aクラス担任 瀧山 茉保

Aクラスとしての一年間。子ども達は、色々な行事を経験し心も体も大きく成長しました。一つひとつの行事を乗り越えた子ども達の表情はとても輝いていて、この姿を近くで見ることができ、とても嬉しく思います。行事の翌日にはお家の人にどのように褒められたのかを嬉しそうに話す姿も多く、大好きな保護者の方に見てもらえた嬉しさが伝わってきます。

普段の生活でもクラスの仲間として子ども達の優しさを感じています。全員で折り紙をしている時、折り方が分からなくなった子にさりげなく教えている姿、コマ回しのコツを丁寧に教える姿、鬼ごっこで一人でもルールをちゃんと理解していないと分かるように集まって話し合う姿…。思い出すとたくさん出てきます。子ども達同士で気持ち上手く伝わらなくてぶつかり合うことがありながらも、『みんな楽しく遊ぶ(過ごす)』



「卒業おめでとう！」

にはどうしたら良いか』を考えている姿に年長としての頼もしさを感じます。また、友達の嬉しかった話を同じように喜んで聞けたり、困ったり悲しそうにしている子がいると、傍にいて「どうしたの？」と聞いて一緒に考えられる優しさもあります。小学校に行っても、優しい気持ちを忘れずに、さらにステキな皆さんになってください！応援しています。子ども達の成長がたくさん見られたのも、保護者の方のご協力があったからこそだと思います。ありがとうございました。



進級おめでとう

なんでも全力！

Bクラス担任 中村 真子

Bクラスでの生活も残りわずかとなりました。一年を振り返ってみると、幼い顔つきだった子どもたちも、一人ひとりが自分のペースでたくましく成長したんだなと、感慨深くなります。それも、安心できる友達が存在が大きかったのだと思います。様々な出来事を経験し、時にはぶつかり合いながらも、一緒に頑張ることの楽しさを分かち合っていました。ごっこ遊びや制作が好きで、「○○になりたい！」「○○つくってみよう！」など、アイデアマンのみんなと過ごせて、私も刺激をもらう毎日で楽しかったです。

さて、2月の保育参観では、劇遊び『ふしぎなラッパ』を見てもらいました。運動会の時も感じましたが、本番に強い子どもたちだなと改めて実感しました。楽器に触れることも楽しかったようで、友達とにこにこ笑顔で練習している姿がとても微笑ましく、印象に

残っています。やりきった表情はとても自信に満ち溢れていて、嬉しく思いました。

次は憧れのAクラス。これから個性を大切にしながら、のびのび過ごしていきたいです。楽しいことがたくさんある一年になりますように。

最後になりましたが、保護者の皆様のご協力・温かい見守りがあってこそ、この一年間を無事に過ごすことができました。ありがとうございました。

「ピカピカの赤バツジ」

Cクラス担任 相原 恵津子

真新しい赤バツジをつけ、少し誇らしげに、でも少し緊張気味だった4月。新しい環境に不安な様子を見せていた子ども達も今では「お迎え待ってるね」「何して遊ぶ？」などと、友だちと過ごすことを楽しみにしている様子が見られ、嬉しく思います。先生や一人遊び中心だった子ども達が「友達と一緒に楽しい」と色々なごっこ遊びや大好きなキャラクターになりきつ

て遊ぶことを楽しんでいます。

先日ドーナツのハンカチを持ってきた子がおり、「おいしいドーナツ食べたいね」と紙テープや画用紙を使って、ドーナツを作り早速ドーナツ屋さんが開店しました。出来た商品は、大きなかごに入れて隣のクラスへ移動販売！トトロランドに参加してからは身近なお店屋さんになりきって、子ども達の中から「お菓子屋さんやりたい」「お弁当屋さんもやる！」と子ども達同士の会話も弾み、品物づくりも自分達でやる姿に成長を感じています。園生活の中で、友だちの存在や家庭での経験が遊びにつながっていると実感する毎日です。



様々なことを経験し、日々たくましく成長した一年。毎日の関わりの中で得たものを大切にして過ごしてほしいと願っています。これからも子ども達の成長を傍で見守っていききたいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

ケンカするほど仲がいい

C2クラス担任 石田 雪乃

子ども達の豊かな発想に笑顔と力をもらってきた一年。中でも『ケンカの仲直り』が印象に残っています。遊びの中で、「だめ！」など三歳児なりに思いを伝える言葉が聞こえます。時には互いに譲らず見応えのある取り合いをする時もあります。すぐに間に入りたい気持ちをごらえて、一度見守ることを大切にしてきました。怪我につながらないように気をつけながら様子を伺うと、思ってもみなかった発見があります。

人形を取り合う二人が「ギューっしたらケガしたね」と数分後に



「物々交換で一着落着？」

は病院ごっこで人形を看病し合ったり…。積み木の家の前で「入れて」「だめ」と言い合ううちに、「ネコ」になったらしいよ、「ニャー」と大人の想像を超えた解決法が登場したり…。本人同士ではどうにもならない時もありますが、それでもこうした姿を見ると、子ども世界の奥深さに触れ、嬉しく思う日々でした。

『ケンカ』と聞くとドキッとするかもしれませんが、子ども達が自己主張する、そして相手にも思いがあることに気づく大切な場の一つだと思います。この経験がよい良いものとなるよう、これからも個々の思いに共感し、友達と関わる楽しさを感じられるよう向き合っていきたいです。最後に、保護者の皆様と成長を共有し喜び合えた一年となり、日々の保育へのご理解とご協力に感謝いたします。

進級にむけて

いちクラス担任 中村 美和子

今年は二月でも暖かい日が多く、少しでも積もった雪もあったという間に溶けてしまい、もう少し遊びたかったなと感じる冬でした。二歳児いちごクラスでは、秋ご

ろから「病院ごっこ」「幼稚園ごっこ」などのごっこ遊びが流行しています。病院ごっこでは「今日はどうしましたか?」「次の方、どうぞ」とか、幼稚園ごっこでは「体調はどうですか?」「おあずかりします」など大人の様子をよく見ているなと思います。お医者さんや幼稚園の先生になりきりながら、友達同士のかかわりや言葉のやり取りを広げている姿を見ると、大きな成長を感じ嬉しくなります。

四月からCクラスさんになることを楽しみにしながら張り切っているいちごさん。トイレに行って手洗いや、洋服の着替えも少しずつできるようになり、子どもたちも自信がついてきているようです。これからも、自分で出来る喜びをたくさん感じてほしいと思います。

最近Cクラスさんのお部屋に遊びに行ったり、おやつを食べたり、お昼寝を体験したりして安心して進級できるように取り組んでいます。

残りわずかとなりましたが、これからも子どもたちの気持ちに寄り添いながら、一緒に園生活を楽しくしていきたいと思っています。

保護者の方から

親子風呂のたのしみ

Aクラス 平井佑樹(翔琉)

冬を越えて、新たな季節へ。ついこの間、おぎやあと生まれたような気でおりましたが、彼は彼なりに、充実した日々の中で着実に成長していました。彼ら、彼女らが元気に遊ぶ姿を見ることは私たち親にとって毎日の楽しみです。

今ではお友だちのことを「足が速い師匠」と呼んだり、毎日だれと何をして遊んだ、だれのこんな言動が面白かった、と風呂に入りながら話してくれる翔琉。しかし、保育部に入りたての頃、わたしは少し心配していました。

というのも、人一倍飯は食べるが身体は小さく、わたしたちが子供の頃に比べてほかの子と遊ぶ機会も少ない。色々と連れまわしているから大人には慣れています。が、友だちの輪にちゃんと入れているだろうか。夕方、迎えに行くとときに独りで遊んでいる姿を見ると、そんな心配をしたものでした。しかし、それは杞憂でした。親

子参観、運動会、そして聖誕劇、園行事を乗り越えるたびに友情を深め、楽しむ姿を見せてくれました。今となっては、なかなか風呂から上がれないくらいです。

実は、親子三代にわたってお世話になった盛岡幼稚園。素晴らしい先生方や友だちに恵まれ過ごした園舎での思い出はきっと、一生の宝物に。みんなにありがとう。

いちごクラスで過ごした1年間

いちごクラス 内宮芽美(和香)

初めての集団生活。大丈夫かな：お友達できるかな：と不安に思っていたのは親だけ。当の本人はすぐに新しい環境に慣れ(お昼寝だけは時間がかかってしまいました)、幼稚園に行きたくなかったが、幼稚園に行きたくないという日は一度もなく、毎日楽しく登園することができました。

先生やお友達と一緒に過ごすことで刺激になったのでしょうか、この1年間で娘はグンと成長した気がします。特にお口が達者になりました。給食が大好きな娘は、毎日給食とおやつメニューを確認しては、やったー！と小躍りし、「おかわりください！」の発声練習をして気合いを入れています。もし



「新幹線だいすき！」

かして給食は食べ放題だと思ってる：？と若干心配ではありますが、いっぱい遊んでいっぱい食べていっぱい寝て、元気に成長してくればそれでオッケーです。

最近「早くCクラスさんになりたい！」と口にするのが増えました。お兄さんお姉さんに憧れる気持ちが日に日に大きくなっているようです。

あつという間に過ぎた保育部での1年間ですが、幼稚園部に進級してからも大好きな先生と大好きなお友達と一緒に毎日楽しく過ごしてほしいと思います。先生方、今後ともよろしくお願い致します。

編集後記

春の訪れと共に今年度の締めくくりの季節を迎えました。マスク生活ではなくなった今年度。子ども達の表情や笑顔を身近に感じ、これまでの行事が以前のようにできた一年となりました。

園での生活をより豊かにする行事は成長を感じることができると切な機会です。取り組みを通して感じ得た豊かな感性や協調性、仲間と力を合わせ物事を成し遂げた過程は今後の大きな力の糧に……。幼稚園での全ての経験が繋がっていきます。これからも「こどもがまんなか」になるよう保護者の皆様と共に見守っていききたいと思えます。今年度も沢山の方々のご理解とご協力に感謝し、園を巣立つ32名の子ども達にエールを送ります。

学校法人 内丸学園

幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

〒020-0001

盛岡市中央通一六四七

TEL 020-2233011

理事長 坂本 洋